



芦安中学校だより

第 3 号

校長 竹内 太郎

2026. 6. 25

☆イングリッシュゲーム・合同太鼓・合同合唱（5月28日・6月4日・19日）

今月も小中連携活動が盛んにおこなわれています。芦安小中ならではの活動たちです。誇りにしていきたいと思います。



スリーヒントクイズ



本年度初の太鼓練習



開山祭に向けての合唱練習

☆全校登山事前学習（5月27日・6月11日・16日）

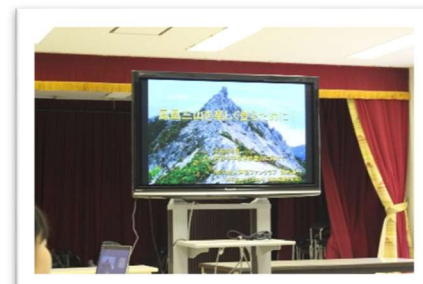
7月の全校登山（鳳凰三山）に向け、講師の先生方による事前学習を行いました。予備知識をもって登ることで、先人の思いや当時の生活に思いをはせることができると期待しています。



魔除け、安全祈願の儀式



諏訪神社の特別御開帳



目指すは鳳凰三山



芦安の歴史と山岳信仰



芦安地区内フィールドワーク



登山ルートについて確認

☆芦安きょういんプロジェクトについて

芦安中学校区学校運営協議会では、芦安郷育を推進するため、本年度より「芦安きょういんプロジェクト」を行っていきます。郷員（地域の方々）と教員（学校の先生）が連携して児童生徒を育て、学校教育目標の達成・芦安郷育の推進を目指していきます。

早速、芦安温泉郷「はたごの会」の郷員の皆さんが、郷育委員会を開催し、児童生徒の素朴な「芦安の魅力、課題、未来」に対する意見に感心されていました。



☆地域ふれあい・道徳・郷育を語る会・教育講演会・登山説明会(6月17日)

6月17日の午後は、タイトルにある怒涛の4連続イベントでした。久しぶりに人口密度の高い教室を作ってくださった皆様、長時間にわたり参加していただきありがとうございました。

道徳のテーマ「自分らしく生きる」は年齢に関係なく語り合える内容ですので、ぜひご家庭でも話題にしてみてください。郷育を語る会の内容で、ご家庭の皆様が力になっていただけるような項目がありましたら学校までお知らせいただけるとありがたいです。講演会ではがんについての知識と、支え合いの大切さを教えていただきました。全校登山もいよいよあと2週間です。準備をお願いいたします。



グループ討議の一場面



全員参加型の郷育を語る会



登山の持ち物と安全対策について

☆防犯教室(6月22日)

6校時、南アルプス警察署生活安全課の警察官とスクールサポーターによる防犯教室が行われました。ネット犯罪、被害の現状と対策についてお話をいただくだけでなく、自転車の青切符のことや小中学生に多い犯罪のことなど丁寧に説明していただきました。



デジタルいかのおすし



自分の未来を守る学習です



市内中学校での事例紹介

☆「思い込み」と「勘違い」

教育講演会の冒頭で「回鍋肉の思い込み」のお話をさせていただきました。刷り込みとでもいうのでしょうか、いつの間にか「そういうものだ」と自分の中で決めつけてしまっている物事はだれにでもあるのではないのでしょうか。

有名なのは「メリーさんの羊」という童謡の歌詞ですね。「メリーさんの羊、〇〇、〇〇、メリーさんの羊、まっしーろね」の〇〇の部分で大半の日本人は「ひつじ、ひつじ」と連呼するというあれです。むしろ半数以上の方が「ひつじ」と歌っているのですから、むしろそっちが正解といっても間違いではない気がします。

実際、自分の子どもに歌って聞かせるのに間違った歌詞のまま歌っていたと思うと、間違いを教えていたことになり、間違っただけで覚えた子どもがまた自分の子どもに間違えて教えていく。間違いの連鎖が起きていくんですね。童謡の歌詞ぐらいなら大した影響はないでしょうけれど、健康や安全に関することを間違えた認識で教え続けていったら大変なことになります。気をつけねばならないと給食に教わりました。

さて、こちらは素敵な思い込み、勘違いの話です。

自転車に乗れない人はどれくらいいますか？ほとんどのいないですよ。個人差はあると思いますが、自転車に乗れるようになるまで私たちは何回か転びます。家族に補助してもらいながら練習しますが、何回かは転びます。転んでも転んでも周囲から「才能ないから諦めな！」とか「お前には自転車は無理」とか否定的な言葉はかけられたことはないでしょう。

それどころか「もう少しで乗れるよ」とか「誰でも最初は転ぶんだよ」などの励ましや応援の言葉かけをされます。みんなが自転車に乗れているから「必ず乗れる」と勘違いしちゃっているんです。だってみんな乗れているんだもの。「できないわけがない！」って思い込んでいますよね。

世界中の人々が「自分らしく生きる」ことを「できないわけがない！」と勘違いしてくれたら、素敵すぎる世界が待っている気がしてきませんか？